

城西病院でインターンシップ 6人の看護学生が1日体験

看護学生を対象にした城西病院のインターンシップが8月9日、開かれました。真壁医師会准看護学院と大成女子高校専攻科看護科で看護を学ぶ6人の学生が参加し、病院の業務を体験し、現役の看護師と意見交換を行いました。

6人は午前中、手術室や救急処置室、CT、MRI、透析センターなどを見学。手術室では手術台を体験したり、応急処置室での心拍測定などを体験。学生たちは、手術室の機器に興味をもって質問したり、看護の体制などを尋ねたりしていました。午後は、希望に応じて内科病棟、外科病棟、小児科外来に行き、城西病院の看護師の制服を着て、1日看護師体験をしました。

内科病棟では、人工呼吸器をつけた患者さんの口腔ケアや全身観察、消毒、外科病棟ではストレッチャーからベッドへの移乗、患者体験、外科医療器材の紹介などを行いました。

学生たちは「城西病院が海外で医療支援を行ってきたのを知って驚きました」「実際に病院に来ないといけない体験をすることができました」と感想を話していました。小児科外来では「子供目線でいろんなことを行って診察していることが分かり、勉強になりました」と語っていました。その後、新人看護師も交え意見を交換。十年選手からは「看護は命にかかわり、失敗できない。分からないことをそのままにすると心が委縮する。新人はなんでも聞く必要があります」と、新人看護師の心得なども話していました。

平成29年8月10日

